

# 競技注意事項

今後、新型コロナウイルス感染症の影響で、競技運営および安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生した場合や発生する恐れがある場合は必要に応じて大会中止とする。中止となる場合は、当大会ホームページ等で告知する。

本大会参加者は別途定められた、「全日本実業団対抗陸上選手権大会開催に向けたガイドライン（以下：ガイドライン）」に従い行動すること。大会主催者は、大会前や当日に発熱や体調不良が確認された場合、該当競技者の出場を認めない場合がある（詳細はガイドラインに記載）。

## 1 競技規則について

本大会は、2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項及び申し合わせ事項により実施する。

またパラ種目（招待）に関しては、2022 - 2023 World Para Athletics (WPA) 競技規則に則る。

## 2 最終エントリー確認手順

≪別紙参照：【重要】2022年全日本実業団選手権・一次招集方法および1500m以下の種目（リレー含む）の当日番組編成実施について≫

### (1) 一次招集の流れ（全種目対象）

①一次招集を各エントリー種目の競技開始2時間前までに以下のいずれかの方法で完了すること。

≪方法1≫Google Forms（下記URLまたはQRコード）から入力（9/22より入力可）

男子選手 URL：<https://forms.gle/tcJSQtDXBTHkAetq9>

女子選手 URL：<https://forms.gle/Y4Pc3edLb7ta4nn28>



男子選手 QR コード



女子選手 QR コード

≪方法2≫競技者受付横に設置するホワイトボードに掲示のエントリーリストに○印を記入

**※1. 全種目一次招集を行い、一次招集フォームの入力または競技者受付での○付けがない競技者は、競技に参加することができない**

**※2. リレー参加チームについては、代表者1名が実施すれば良い**

**※3. 次ラウンド進出後は、一次招集フォームおよび競技者受付での○付けは不要とする**

②確定した番組編成は、各競技開始90分前までに当大会ホームページの速報サイト（以下、速報サイト）に掲載する。

### (2) 当日番組編成について（下記17種目）

当大会は、1500m以下のトラック種目の予選（男子100mは予備予選含む）及びタイムレース決勝を対象に、一次招集リストおよび各種目2時間前までの欠場届をもって当日番組編成を行う。

対象種目：男女100m・男女200m・男女400m・男女800m・男女1500m・男子110mH・女子100mH・男女400mH・男女4×100mR・男子4×400mR（全17種目）

締切時間：対象種目の予選（予備予選含む）・タイムレース決勝の第1組競技開始2時間前まで

### (3) 【3000m以上のスタートリスト】について

対象種目：女子J3000m、男女3000mSC、男女5000m、男女10000m、男女10000mW

9/20（火）までの欠場届を集約し、9/21（水）以降にスタートリストを公開予定

**※男女5000m、10000mは9/20（火）17時までの補欠交代も集約【参照：大会要項（第二版）】**

9/21（水）～9/23（金）までの補欠交代申請アドレス：[jitaTF.info@gmail.com](mailto:jitaTF.info@gmail.com)

### (4) 欠場届について（全種目対象）

当大会申込完了後に欠場する競技者は、本大会規定の「欠場届」を提出する（メールまたはTIC）。

#### 【欠場届の提出方法について】

①9/22（木）までに届ける場合はメールにて受け付ける。

②大会期間中については、T I Cまたはメールにて受け付ける。

※指定のメールアドレス(jitaTF.info@gmail.com)宛に「欠場届」を添付して提出  
メールタイトルを、【2022 選手権欠場届\_チーム名称\_チーム連絡責任者氏名】とすること

③提出日時は、大会申込後から大会当日の各種目競技開始2時間前までとする。

※1. 欠場が早期に確定している場合や、提出期限以降もケガ等で止むを得ず欠場する場合、次ラウンド進出後の欠場の場合も、期日にかかわらず速やかに「欠場届」を提出すること

※2. 2種目以上で欠場する際には、種目ごとに欠場届を提出すること

**【注意】**「欠場届」の提出なく欠場した場合は、次年度の本大会に出場を認めない処置を講ずることがある

● 競技者受付及びT I C受付開始時間は、以下の通りとする。

・9/23（金）13:00～ 9/24（土）7:00～ 9/25（日）7:30～

### 3 練習場および練習について

(1) 練習は「練習会場に関する注意事項」を確認の上、危険防止に十分注意し、競技役員の指示に従うこと。※集団では行わず個別で行うなど、「3密」を避けること

(2) 競技運営上、補助競技場【サブ】での投てき練習は不可とする。

※投てき物を持たない助走・ターン練習のみ可

### 4 招集（二次招集）について ※招集時の「3密」を避けるため、現地で競技役員の指示に従うこと

(1) 招集所は、メイン競技場第4ゲート100mスタート側入り口付近に設ける。

(2) 各種目の招集開始時刻と招集完了時刻は、競技日程を参照のこと。

(3) 招集方法については、次の通りである。

①競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、競技役員から点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピンおよび靴底の厚さ・競技場内で着用するウェアや持ち込むバック類の商標の点検を受ける。また携帯電話等、競技規則TR6.3.2に関する機器を持ち込んでいないか確認を受ける。競技場内に持ち込めない物は、競技者係で預かり、T I Cにて返却する。

※. 通信機能付き（外部と会話ができる機能）の腕時計については着用・持ち込み不可とする（スマートウォッチ等）

②トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を2枚競技者係から受け取る。

③2種目同時に出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が、T I Cに用意した「多種目同時出場届」に記入し第1種目の招集開始時刻までに招集所に提出する。

④リレーに出場するチームは、所定のリレーオーダー用紙に記入し、第1組の招集完了時刻の1時間前までに、招集所に提出する。提出後の変更は負傷等の場合を除き認めない。

⑤代理人による最終点呼は認めない。招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。

⑥男女の棒高跳はメイン競技場の競技実施場所で招集を行う。

（ピットは、バックストレート側に設置する）

### 5 アスリートビブス（ナンバーカード）について

(1) アスリートビブスは、配布された大きさのままでユニフォームの胸部・背部につける。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。

(2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識2枚（招集所で配布）を両腰につける。

(3) 5000m、10000m、10000m 競歩種目は別アスリートビブス（腰ナンバーと同じ番号）を着用する。

(4) トランスポンダー付き腰ナンバー標識について（男女10000m、男女10000m競歩）。

・別アスリートビブス（腰ナンバーと同じ番号）を着用する

・周回のトランスポンダー付き腰ナンバー標識は招集所で配布し、左腰につける

※トランスポンダー付き腰ナンバー標識は、レース終了後にフィニッシュ付近にて回収する

## 6 競技について

- (1) トラック競技は全て写真判定装置を使用する。投てき競技（砲丸投は除く）および跳躍競技（走高跳は除く）は光波距離計測装置を使用する。
- (2) 短距離種目については、スタート・インフォメーション・システムを使用して競技を行う。  
スタート・インフォメーション・システムに不具合が生じた場合は、スタート審判長の判断によりスタートをやり直す場合がある。
- (3) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はエントリーリスト（当日番編種目はスタートリスト）記載順で行う。
- (4) 男子 100m 予選、予選が行われた種目の決勝の組み合わせおよびレーン順は、主催者が公正に決定しその結果を速報サイトに掲載する。
- (5) 男子 100m の S 標準記録有資格者は予選（9/24）から競技を開始する（9/23 予備予選免除）。  
男子走幅跳の S 標準記録有資格者は決勝（9/24）から競技を開始する（9/23 予備ラウンド免除）。
- (6) トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位で 100 分の 1 秒単位で同記録があった場合、1000 分の 1 秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合でレーン数に余裕があれば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。
- (7) 競歩競技について
  - ①残り 100m からフィニッシュまでの間で競技者の歩型が TR54.2 に明らかに反する時、競歩審判員主任はその競技者にそれまでに出示されたレッドカードの有無に拘わらずその競技者を主任単独で失格にする権限をもつ。
  - ②男子 50 分、女子 58 分を過ぎて新たな周回には入れない。
- (8) 三段跳の踏切板は、男子 13m・女子 10m の地点とする。
- (9) 4×100m R の 2～4 走者のマークは主催者が用意したものをを使用すること。また、競技終了後の回収は各チームで責任をもって行うこと。
- (10) フィールド競技の公式練習は原則 2 回とし、全て競技役員の指示に従う。競技開始までに時間がある場合は 3 回目以後の練習もありうる（跳躍・投てき種目共通）。
- (11) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。
  - ① 荒天、その他特別な状況が生じた場合、審判長の判断により変更することがある。
  - ② 棒高跳の公式練習は、任意の高さおよびアップライトの位置（現地で担当競技役員に申告する）で試技順に 2 回行う。ゴムバーの高さを正規の高さに設定して行う。

種目	練習	バーの上げ方	
男子走高跳	1m90	1m90～2m15 まで 5cm 刻み	以後 3cm 刻み
	2m10		
女子走高跳	1m60	1m60～1m70 まで 5cm 刻み	以後 3cm 刻み
	1m70		
男子棒高跳	任意の高さ	4m80～5m00 まで 20cm 上げ 5m00～5m30 まで 10cm 刻み	以後 5cm 刻み
女子棒高跳	任意の高さ	3m40～4m00 まで 10cm 刻み	以後 5cm 刻み

- (12) 跳躍競技で使用するピットは、男子走幅跳（予選ラウンド）のみ 2 ピットで行い、他はすべての競技で 1 ピットとする。
- (13) 男子 100m の予備予選、男子走幅跳の予選ラウンドについて  
男子 100m は予備予選、男子走幅跳においては予選ラウンドを実施するため、通過条件を以下のとおりとする。

種目	通過条件
男子100m	<u>①予備予選はタイムレース</u> <u>②上位X名が予選へ進出</u> <u>③X = (予選24名 - S標準記録有資格者数)</u> <u>※予備予選2時間前までの欠場届を集約 (S標準記録参加者含む)</u>
男子走幅跳	<u>①予選ラウンドの試技は3回</u> <u>②上位Y名が決勝へ進出</u> <u>③Y = (決勝12名 - S標準記録有資格者数)</u> <u>※予選ラウンド2時間前までの欠場届を集約 (S標準記録有資格者含む)</u>

(14)トラック競技の直線種目(男女100m、男子110mH、女子100mH)については、当日の風向によってホームストレートを使用し逆走を行う場合がある。

(15) **【デフ競技者：オープン扱い】※男子400m、女子800m・1500m (1レーン固定)**

デフ競技者のトラック種目のスタートにおいては「光刺激スタートシステム」を使用できる。使用詳細については、下記のとおりとする。

- ①「オンユアマークス」・・・赤, 「セット」・・・黄, 「号砲」・・・白(点滅)とする。
- ② 競技者は、システムの使用・不使用を選択することができる。  
(不使用の場合は、システムをレーンナンバーの後方へ移動する。)
- ③ システムが正常に動作しなかった場合は、直ちにピストルを鳴らしレースを中断させる。その後、システムの故障、不具合により使用の継続ができない場合は、そのレースより使用を禁止し、従来通りの(目視)スタートへ変更する。ただし、システムが復旧した場合は再使用する。

(16) **【ドリームチャレンジ：オープン扱い】**

当大会は、一部の種目で各数名ずつ東海地区選抜の高校生を招待する。

※1. オープン扱いとし、上位ラウンド進出はなし

※2. 番組編成は申込資格記録により、実業団選手と同様に行う

7 **コーチングエリアの設置について ※「3密」回避の徹底 「ガイドライン」参照**

- (1) フィールド競技については、コーチングエリアを設置する。
- (2) 競技中の競技者に対するアドバイスは、コーチングエリア内で行うこと。

8 **競技場への入退場について ※入退場時の「3密」を避けるため、現地で競技役員の指示に従うこと**

- (1) 競技場への入退場は、全て競技役員の指示により行う。
- (2) 競技に出場する選手は、メイン競技場(第4ゲート付近)に設置する招集所から各競技場所へ移動する。メイン競技場での競技が終了した選手は、第1ゲート(フィニッシュ付近)に設置するミックスゾーン・ポストイベントコーナーを通過して退場する。
- (3) 表彰対象者およびドーピング検査対象者については、競技役員の指示に従う。

9 **競技用靴・用器具について**

- (1) シューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)

本大会は、WA規則TR5の改定ルールを適用する。

※詳細は日本陸連HP参照

<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

- (2) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

ただし、投てき用器具は、各人所有のものを検査の上使用することができる。

投てき用器具の検査受付は、各競技種目の競技開始時刻90分前までにTICに持参すること。出場する競技者もしくは代理人が「投てき用器具検査申請書」と共に直接持参すること。検査後の用器具は、主催者預りとし、その用器具は全競技者が使用できるものとする。返却は競技終了後、T

I Cで預かり書と引換に行う。(競技場備え付けの投てき用器具と同じでも持ち込み可)  
棒高跳用ポールについては、棒高跳ピットにて担当競技役員が検査を行う。

- (3) フィールド競技で助走路に使用するマーカーは、主催者が用意したものを2個まで使用することができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1個使用することができる。

## 10 抗議・上訴について

- (1) 競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技規則 TR8 に定められている時間内(同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後 15 分以内、それ以外は 30 分以内)に競技者または代理人が T I C に申し出る。その後、T I C を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。
- (2) さらに、審判長の裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通してジュリーに文書で申し出る。(TR8.7.2)

## 11 ドーピングコントロールテストについて(大会要項参照)

## 12 表彰について ※表彰時の「3密」を避けるため、現地で競技役員の指示に従うこと

- (1) 各種目の競技終了後に、正面スタンド前で1~3位まで表彰を行う。  
※ミックスゾーン・ポストイベントコーナー通過後に行う
- (2) 各種目の優勝者には選手権章、3位までの入賞者には副賞を授与する。
- (3) 団体総合及び男女別総合得点優勝チームは9月25日(日)の全競技終了後に表彰を行う。第2位から6位までのチームに賞状を授与し、後日送付する。総合得点が同点の場合、優勝種目の数により決定する。なお、優勝種目が同数の場合、2位の数により決定する。以下これに準ずる。クラブチーム登録者が8位以内に入賞した場合はその順位の得点は付与しない(繰り上げなし)。但し、順位による個人表彰は対象とする。

## 13 その他

- (1) ADコントロールを実施するため、配布したADカードは常に携帯する。監督・コーチのADカード配布上限枚数については、競技者1名につき1枚、2名~3名は2枚、4名以上は3枚以内とする。リレー種目のみのエントリーの場合は、1チームにつき1枚とする。  
※ チーム関係者ADは、「監督・コーチ」ADと同数とする
- (2) 衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。
- (3) 更衣室は、正面スタンド下に設置する。※長時間の滞在は禁止  
※「3密」回避の徹底 「ガイドライン」参照
- (4) 記録はその都度発表(速報サイト)する。
- (5) スタンドの応援については、コーチ席や撮影禁止区域、報道エリアなどテープで制限した範囲以外の席とする。  
男女5000m・10000m以上の応援については、グラウンド内(レーンの外側)での応援を認める。  
※グラウンド観戦付き入場券購入の方のみ(詳細:チケット参照)  
第1・3日目:第2ゲート外側階段、第2日目:第3ゲート外側階段から入場  
※感染予防のため「ガイドライン」が定める応援マナーを遵守すること
- (6) 応援の際の応援グッズ(スティック、衣類、帽子等の手持ちのもの)については、所属企業・チーム名および競技者名の掲載を認める。  
応援旗・部旗・横幕・幟・小旗等の固定のものについても同様とする。  
固定のものについては、正面スタンドは全面禁止、サイド・バックスタンド中央・上段手すりのみ可とする(競技場最前列は全面禁止とする)。ただし、競技運営などに支障がある場合は、撤去または移設を指示する場合がある。  
※毎日撤去して持ち帰ること(夜通しの固定は不可)。

- (7) 貴重品類は各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。  
 (8) 遺失物類についてはT I Cで管理する。  
 (9) **撮影（写真・動画等）については、制限を設ける**

事前申請を行ったビブス着用の報道とチーム広報、及びチーム関係者（「監督・コーチ」・「競技者」がADカード着用の上）が撮影禁止区域外でその他撮影制限（撮影方向等）を遵守し撮影する場合のみ認める。

**【別紙参照：「撮影（写真・動画等）制限」に関するお願い】**

- (10) 応急処置を必要とする事故が発生したときは、救護室で処置を受けることができる。  
 (11) 「ポール・やり」の返送のみ着払いに限り中央正面玄関横「実業団連合事務局」で対応する。  
 ※詳細は、別添「ポールおよびやりの配送に関して」を参照のこと  
 (12) 大会関係者が撮影した、写真・ビデオは主催者の一般社団法人日本実業団陸上競技連合に使用権限があり、SNSなど情報発信に使用する場合がありますのでご了承ください。  
 (13) 提出書類等については下記の通り行う。（各用紙はT I Cで配布する）

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	当競技注意事項の「2 エントリー確認手順について」の「(3)欠場届け提出手順・日程について」参照	
2	多種目同時出場届	招集所	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙	招集所	第1組招集完了1時間前まで
4	用器具検査申請書	T I C	各競技種目の競技開始時刻90分前まで
5	抗議申立て（口頭）	T I C（経由審判長へ）	正式記録発表後30分以内まで、同一日に次のラウンドがある場合は、15分以内まで
6	上訴申立書（文書）	総務員（T I C・抗議）	審判長裁定後30分以内まで、同一日に次のラウンドがある場合は、15分以内まで
7	プログラム訂正届	競技者受付	9月23日は13時30分まで
			9月24日・25日は9時00分まで

- (14) 開門時刻及び閉門時刻は次のとおりとする。

期日	開門時刻		閉門時刻	
	【メイン】	【サブ】	【メイン】	【サブ】
9月22日（木）	13時00分	—	17時00分	—
9月23日（金）	10時00分	13時00分	13時00分	20時30分
9月24日（土）	—	7時00分	—	20時30分
9月25日（日）	—	7時30分	—	18時30分

- (15) 監督会議については、23日（金）14時30分～実施する。

実施方法：オンライン（予定）

**※「ガイドライン」参照のこと**

- (16) 選手待機場所（チーム陣地等）について「参照：会場全体図」

①芝生広場（北側）②武道館（柔道場：9/24～9/25、剣道場9/23～9/25）

※利用不可：競技場正面駐車場、メインスタンドコンコース

## 練習会場に関する注意事項

1 練習会場および使用時間は、下記の通りとする。

会場名	競技種目	9月22日 (木)	9月23日 (金)	9月24日 (土)	9月25日 (日)
【メイン】 9レーン	トラック種目	13:00~17:00	10:00~13:00	×	×
	ハードル・走幅跳・三段跳・走高跳	13:00~17:00	10:00~13:00	×	×
	棒高跳 (※1)	×	▲ 10:00~13:00	女: 9:00~ 男: 13:30~	×
【サブ】 6レーン ※西側直線 8レーン	トラック種目	×	13:00~20:30	7:00~20:30	7:30~18:30
	ハードル・走幅跳・三段跳・走高跳	×	13:00~18:00	9:00~18:00	7:30~15:00
	投てき種目 (※2)	×	×	×	×
【メイン】 室内練習場	全日一切使用不可	×	×	×	×

※1. 男女の棒高跳は主競技場での練習に引き続き正式競技を開始する。

▲: 9/23 (金) の練習は、雨天の場合不可とする

※2. 投てき種目については、投てき練習は一切できない。

投てき物を持たない助走・サークルでの練習は可とする。

- 2 入退場時には、必ずADカードを提示すること。
- 3 練習は、競技役員の手配のもと、事故防止に十分配慮して行うこと。
- 4 練習に使用する用具は、原則として各自持参すること。(スタブロー、ハードルは準備あり)
- 5 スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし走高跳・やり投げのスパイクについては、12mm以下とする。
- 6 練習におけるレーンの使用については下記のとおりとする。

■メイン: 9レーン (芝生内でのW-UPおよびC-DOWN程度は可能)

- ・1~3レーン: 中・長距離・競歩種目
- ・4~7レーン: 短距離種目 (ホームストレートはスタート練習)
- ・8, 9レーン: 100mH, 110mH (ホームストレート)
- ・8, 9レーン: 400mH, 第1曲走路からバックストレートにハードルを設置する

■サブ: 6レーン ※西側直線8レーン (芝生内でのW-UPおよびC-DOWNは可能)

- ・1~2レーン: 中・長距離・競歩種目
- ・3~6レーン: 短距離種目 (ホームストレートはスタート練習)
- ・7~8レーン: 100mH, 110mH (ホームストレート)
- ※但し、競技開始前など人数によってはハードルを5~6レーンへ増設するする場合あり
- ・5~6レーン: 400mH, 第1曲走路からバックストレートにハードルを設置する
- ※但し、競技開始前など人数によってはハードルを4レーンへ増設するする場合あり

◇4×100mR練習について

バトンパス練習については、原則サブ3~4レーンの第2コーナー~バックストレート~第3コーナーで行うこと。

※小学生・中学生招待リレー種目の練習についても同様とする

【車いす400mウォーミングアップについて: サブ】

9月24日 (土) 13時20分~14時00分の間は、1~2レーンを車いす競技者専用レーンとする。

●サブ競技場内でのチーム陣地等の確保は禁止とする